

審査ポイント(令和6年度福岡市ソーシャルスタートアップ成長支援事業)

項目	
取り組む課題の具体性、必要性	取り組む課題を具体的に設定しており、取り組む必要性を明確に説明できている。
事業の必要性、波及性	<p>事業内容が、社会や地域の課題解決の打ち手として有効である</p> <p>様々な地域で広く活用、応用できる事業内容であり、事業の効果が広く波及する見込みがある</p> <p>事業内容が、市内外の人々から広く共感の集まる内容である</p> <p>事業内容が、福岡市民をはじめ、市内外の人々の持続的でより良い生活の実現に繋がるものである。</p> <p>課題解決に向けて、測定可能な効果指標を設定している。</p>
支援の必要性、効果	寄附を通じた支援が必要であり、プロジェクト内容が今後の事業成長において効果的と期待できる
寄附を集めるための取り組み、自立性	<p>寄附を集めるための工夫や取り組みを検討しており、自己努力で寄附を集める姿勢がある</p> <p>目標額に到達しない場合も、プロジェクト実施に向けた対応を検討している。</p>
事業の継続性	持続的な経営に向けて、実現可能な事業計画や資金計画にを有する。
その他、審査員が施策上、時に魅力的と考える要素がある。	<p>ビジネスモデル、製品やサービスに独創性がある。</p> <p>特出して魅力的な事業であり、多くの方から寄付を集め、本施策全体に対し、寄附集めの呼び水となる。</p> <p>地域や社会の課題解決を目指す他者にとって、ロールモデルとなる要素がある。</p>